

| | | | | | | | |
|---|--|----------------|--|--------------|--|-------------|--|
| 試合番号 : 470 | | 試合会場 : 所沢市民体育館 | | | | 観客数 : 1,014 | |
| 開始時間 : 12:00 | | 終了時間 : 13:14 | | 試合時間 : 01:14 | | 主審 : 明井 寿枝 | |
| 副審 : 津島 由香 | | 埼玉上尾メディックス | | NECレッドロケッツ | | 通算 3勝 1敗 | |
| 通算 4勝 0敗 | | ポイント : 12 | | 25 第1セット 16 | | 通算 3勝 1敗 | |
| 監督コメント リーグ戦終了からV Cupの連戦が続いていましたが、1週間空いたことでV Cupに入ってからの課題に焦点を当ててチームを成長させることができました。試合内容としては、選手が高い集中力でプラン通りに展開してくれたことでリードする展開となった。第3セット、相手の戦術変更にも対応し勝利することができました。グループ首位が確定しましたが、グループ戦最終戦も高い集中力をキープして試合に臨めるように準備します。応援宜しくお願いします。 | | 3 | | 25 第2セット 11 | | 0 | |
| | | | | 25 第3セット 23 | | | |
| | | | | 25 第4セット | | | |
| | | | | 25 第5セット | | | |
| | | | | 25 第6セット | | | |
| 要約レポート V Cup予選ラウンドBグループ、現在1位の埼玉上尾メディックスと、2位のNECレッドロケッツの対戦。第1セット、埼玉上尾は青柳、佐藤を中心に攻めリードをする。中盤、NECは山内、上野の攻撃で差を短めるが、埼玉上尾はジョセフの攻撃、サンディアゴのブロックで点差を駆けセットを先取した。第2セット、序盤から埼玉上尾は前セットの勢いそのままにジョセフ・青柳の攻撃でリードした。対するNECは野嶋、古谷の攻撃で応戦する。中盤から埼玉上尾は内瀬戸のブロック、攻撃と連続で得点をあげセットを連取した。第3セット、流れを変えたいNECはスターティングメンバーをセッター塚田、オポジット柳田に代えて臨んだ。中盤まで一進一退の展開となるも、埼玉上尾がリベロ山岸の堅実なレシーブからジョセフ、佐藤が攻撃を決めセットを連取し、ストレートで勝利を収めた。 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|----------|--|------------|--|----------|--|
| 試合番号 : 471 | | 試合会場 : | | | | 観客数 : | |
| 開始時間 : | | 終了時間 : | | 試合時間 : | | 主審 : | |
| 副審 : | | 日立リヴァーレ | | PFUブルーキャッツ | | 通算 0勝 4敗 | |
| 通算 2勝 2敗 | | ポイント : 6 | | 25 第1セット 0 | | 通算 0勝 4敗 | |
| 監督コメント PFUブルーキャッツの試合出場見合わせのため、不戦敗と見なす。 | | 3 | | 25 第2セット 0 | | 0 | |
| | | | | 25 第3セット 0 | | | |
| | | | | 25 第4セット | | | |
| | | | | 25 第5セット | | | |
| | | | | 25 第6セット | | | |
| 要約レポート PFUブルーキャッツの試合出場見合わせのため、不戦敗と見なす。 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|----------------|--|-----------------|--|------------|--|
| 試合番号 : 472 | | 試合会場 : 所沢市民体育館 | | | | 観客数 : 803 | |
| 開始時間 : 14:30 | | 終了時間 : 15:48 | | 試合時間 : 01:18 | | 主審 : 小野 将人 | |
| 副審 : 浅井 唯由 | | 東レアローズ | | KUROBEアクアフェアリーズ | | 通算 1勝 3敗 | |
| 通算 2勝 2敗 | | ポイント : 7 | | 25 第1セット 19 | | 通算 1勝 3敗 | |
| 監督コメント 今日の試合はサーブで攻めてプレッシャーをかける事により流れを引き付ける事ができました。攻撃面や繋ぎのプレーなどで課題が残りますが、明日の試合でしっかり修正できるように準備したいと思います。本日もたくさんのご声援をいただきありがとうございました。 | | 3 | | 25 第2セット 14 | | 0 | |
| | | | | 25 第3セット 20 | | | |
| | | | | 25 第4セット | | | |
| | | | | 25 第5セット | | | |
| | | | | 25 第6セット | | | |
| 要約レポート 東レアローズと、KUROBEアクアフェアリーズとの一戦。第1セット序盤は、東レ・野呂、KUROBE・浮島の活躍で1点を争う戦いとなる。中盤東レは、西川の2連続サーブサービスエースから小川、中田の攻撃でリードする。終盤KUROBEはリーの攻撃、杉原のブロックで応戦するも追い付かず東レがセットを先取する。第2セット、序盤からKUROBEがプレッシャーをかけリードするが、東レは小川の攻撃で追い付き、中盤は西川のサーブで崩し小川、中田の攻撃でリードを広げる。終盤も東レのリベロ水杉の粘りのレシーブで繋ぎ、2セットを連取する。第3セットは東レがサーブでKUROBEを崩しリードをする。中盤、KUROBEは島田、リーの攻撃が決まってくるが、東レは追従を許さない。終盤、KUROBEは梅津のサーブサービスエースで1点差に追いついたが、東レ・中田の活躍でこのセットも取りストレートで試合を制した。 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|-----------------|--|--------------|--|-------------|--|
| 試合番号 : 473 | | 試合会場 : 島津アリーナ京都 | | | | 観客数 : 678 | |
| 開始時間 : 11:00 | | 終了時間 : 12:34 | | 試合時間 : 01:34 | | 主審 : 増岡 三佳子 | |
| 副審 : 原 啓之 | | 岡山シーガルズ | | デンソーエアリービーズ | | 通算 3勝 1敗 | |
| 通算 2勝 3敗 | | ポイント : 5 | | 25 第1セット 27 | | 通算 3勝 1敗 | |
| 監督コメント 多くの若手選手達が経験を積む上で有意義な試合であった。要所要所で中心選手がうまくリードできていたら、際どいゲームに持って行ったように思う。この経験をこれから活かし、堅固なチーム作りにもまい進していきたい。遠方より多くの方が応援に駆け付けてくださり感謝申し上げます。VリーグVカップを通し、大変な中、応援し続けて下さった皆様、本当にありがとうございました。 | | 0 | | 20 第2セット 25 | | 3 | |
| | | | | 21 第3セット 25 | | | |
| | | | | 25 第4セット | | | |
| | | | | 25 第5セット | | | |
| | | | | 25 第6セット | | | |
| 要約レポート お互いに2勝をあげている岡山シーガルズとデンソーエアリービーズの対戦。岡山が古川のレフトからのスパイクで得点を重ねるのに対し、多彩なコンビネーションを使った攻撃やサーブサービスエース等で最大7連続得点をあげたデンソーが、デュースにまでつれた第1セットを先取した。第2セット序盤は、両チームともにミスが続く。流れに乗れない中、横田のセンターからの速攻やブロック、中元のスパイクで流れをつかんだデンソーが粘る岡山を振り切りセットを連取した。第3セットは一進一退の展開で進んだが、再三の好レシーブでデンソーの攻撃をつなぐ岡山に対し、セッター松井から繰り出される多彩な攻撃と要所でのブロックで得点を重ねたデンソーが競り勝ち、ストレートで勝利を収めた。 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----------------|----------------------|--------------|-------------|-------------|----------|------------|--|-----------------------|--|--|
| 試合番号 : 474 | | 試合会場 : 島津アリーナ京都 | | | | 観客数 : 723 | | | | | | |
| 開始時間 : 13:15 | | 終了時間 : 15:07 | | 試合時間 : 01:52 | | 主審 : 北村 友香 | | 副審 : 内藤 聡美 | | | | |
| JTマーヴェラス | | | 通算 3勝 1敗 ポイント : 8 | | 25 第1セット 22 | | 久光スプリングス | | | 通算 4勝 0敗 ポイント : 12 | | |
| 監督コメント | 強力なミドルブロックを中心にサイドアウトでの得点があるチームに対して粘り強く戦っていき、ゲームの前半はお互いにサイドアウトを繰り返す展開だったが、相手の強弱をつけたサーブに自分達のオフェンスが単調になり、勝負所で得点を取ることが出来なかった。ゲーム展開が色々と変化していく中で、相手への対応と自チームの修正をし、最後まで諦めない戦いで、次につなげていきます。本日は沢山の応援ありがとうございました。 | | | | 1 | 18 第2セット 25 | | 3 | 来週ファイナルラウンドに向けて大事な一戦。1週試合が空いたこともあり相手の対策と自分たちの課題に集中して取り組むことができた。試合では序盤リズムが掴めずセットを取られてしまったが、途中出場の選手たちが試合の流れを取り戻し、その勢いをより加速させ、最後まで諦めずに戦い抜いたことが大きな勝因となった。来週の試合に良い状態で挑むために明日の一戦も全員で戦い抜きたい。熱いご声援ありがとうございました。 | | | |
| | 21 第3セット 25 | | 17 第4セット 25 | | | | | | | | | |
| | 第5セット | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 要約レポート | | | | | | | | | | | | |
| 互いに3勝0敗のJTマーヴェラスと久光スプリングスの直接対決。第1セットは、JTが先行し、久光が追いかける展開となったが、終盤の勝負どころでJTはヒックマンのスパイクで連続得点し先取した。第2セットは、久光が井上(愛)のスパイクやブロックなどで序盤からリードした。JTもタツダオのスパイクなどで中盤追いついたが、勝負どころでブロックを決めるなど連続得点を上げた久光が一気に引き離し、セットカウントを1対1とした。第3セットは、一進一退の展開となった。両チームとも時折ミスも出始め、何度も長いラリーが続く激しい攻防となった。しかし終盤、連続6得点を上げた久光がこのセットを取った。第4セットも中盤までは一進一退の展開となったが、久光は中盤から終盤にかけて加藤、中川のスパイクなどで一気に連続7点を上げて勝負を決定づけ、久光がセットカウント3対1で勝利した。 | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------|----------------------|--------------|-------------|-------------|-----------|-----------|--|----------------------|--|--|
| 試合番号 : 475 | | 試合会場 : 島津アリーナ京都 | | | | 観客数 : 752 | | | | | | |
| 開始時間 : 15:45 | | 終了時間 : 17:08 | | 試合時間 : 01:23 | | 主審 : 吉岡 奈々 | | 副審 : 本間 明 | | | | |
| トヨタ車体クインシーズ | | | 通算 0勝 5敗 ポイント : 2 | | 17 第1セット 25 | | ヴィクトリーナ姫路 | | | 通算 1勝 3敗 ポイント : 3 | | |
| 監督コメント | ゲーム序盤から動きが硬く、タッチネットなど凡ミスも多く、試合を通じて厳しい時間が続いた。私たちの真価が問われる日々、課題と向き合い、強みを最大に伸ばし、上手いかなかったことから目をそらさず、チーム一丸となって勝利をつかみ取るべく努力していきたく思います。遠方から駆けつけてくださったファンの皆様のお顔を見て励まされました。勝利を分かち合うという恩返しはできませんでしたが、次に現れる時には、よみがえったクインシーズをお見せします。本日は応援ありがとうございました。 | | | | 0 | 16 第2セット 25 | | 3 | このVカップでは、チームの底上げを図るのが目的の一つでしたが、前回の試合までのところでチーム内より競争原理が働いていなかったこと。また、自分がそのような状況を作れなかったことが大いに反省し、この試合に向けて自分たちが何のために戦うのかという再確認と、チーム内で競い合いながら力を高めていこうとやってきました。良い練習が出来たことが、この結果に繋がったと思います。試合を通してコートに立ち続けた宮地にとっても、とても良い経験になったと思います。明日は最終戦になりますが、この1年取り組んできた成果をコートで出しつければと思います。有観客で試合が出来ることが選手にとってはとても幸せなことです。応援くださった方々、本当にありがとうございました。明日も応援よろしくお願致します。 | | | |
| | 20 第3セット 25 | | 第4セット | | | 第5セット | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 要約レポート | | | | | | | | | | | | |
| 両チームとも未だ勝ち星に恵まれないトヨタ車体クインシーズとヴィクトリーナ姫路の一戦。ソロコイテにボールを集めるトヨタ車体の攻撃に対し、レシーブで流れをつかみ両サイドからの速い攻撃や、バックアタック等の多彩な攻撃を見せる姫路が終盤押し気味に試合を進めた。トヨタ車体も何とかコンビネーション攻撃を仕掛けるが決め切れず、その焦りからミスが続く。連続して2セットを失った。第3セットに入っても疲れを感じさせないソロコイテの攻撃で得点し、粘りを見せるトヨタ車体に対し、レシーブでつなぎ、この試合最多打数の宮地を中心とした多彩な攻撃から、序盤から好調な田中の速いライトからのスパイクや、相手をよく見た貞包のスパイクで得点を重ねた姫路が逃げ切り、ストレートで勝利を収め、初白星を手にした。 | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--------|--|--------|-------------------|--------|-------|-------|----|------|--|-------------------|--|
| 試合番号 : | | 試合会場 : | | | | 観客数 : | | | | | |
| 開始時間 : | | 終了時間 : | | 試合時間 : | | 主審 : | | 副審 : | | | |
| 通算 | | | -勝 -敗 ポイント : - | | 第1セット | | 通算 | | | -勝 -敗 ポイント : - | |
| 監督コメント | | | | | 第2セット | | | | | | |
| | | | | | 第3セット | | | | | | |
| | | | | | 第4セット | | | | | | |
| | | | | | 第5セット | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 要約レポート | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--------|--|--------|-------------------|--------|-------|-------|----|------|--|-------------------|--|
| 試合番号 : | | 試合会場 : | | | | 観客数 : | | | | | |
| 開始時間 : | | 終了時間 : | | 試合時間 : | | 主審 : | | 副審 : | | | |
| 通算 | | | -勝 -敗 ポイント : - | | 第1セット | | 通算 | | | -勝 -敗 ポイント : - | |
| 監督コメント | | | | | 第2セット | | | | | | |
| | | | | | 第3セット | | | | | | |
| | | | | | 第4セット | | | | | | |
| | | | | | 第5セット | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 要約レポート | | | | | | | | | | | |